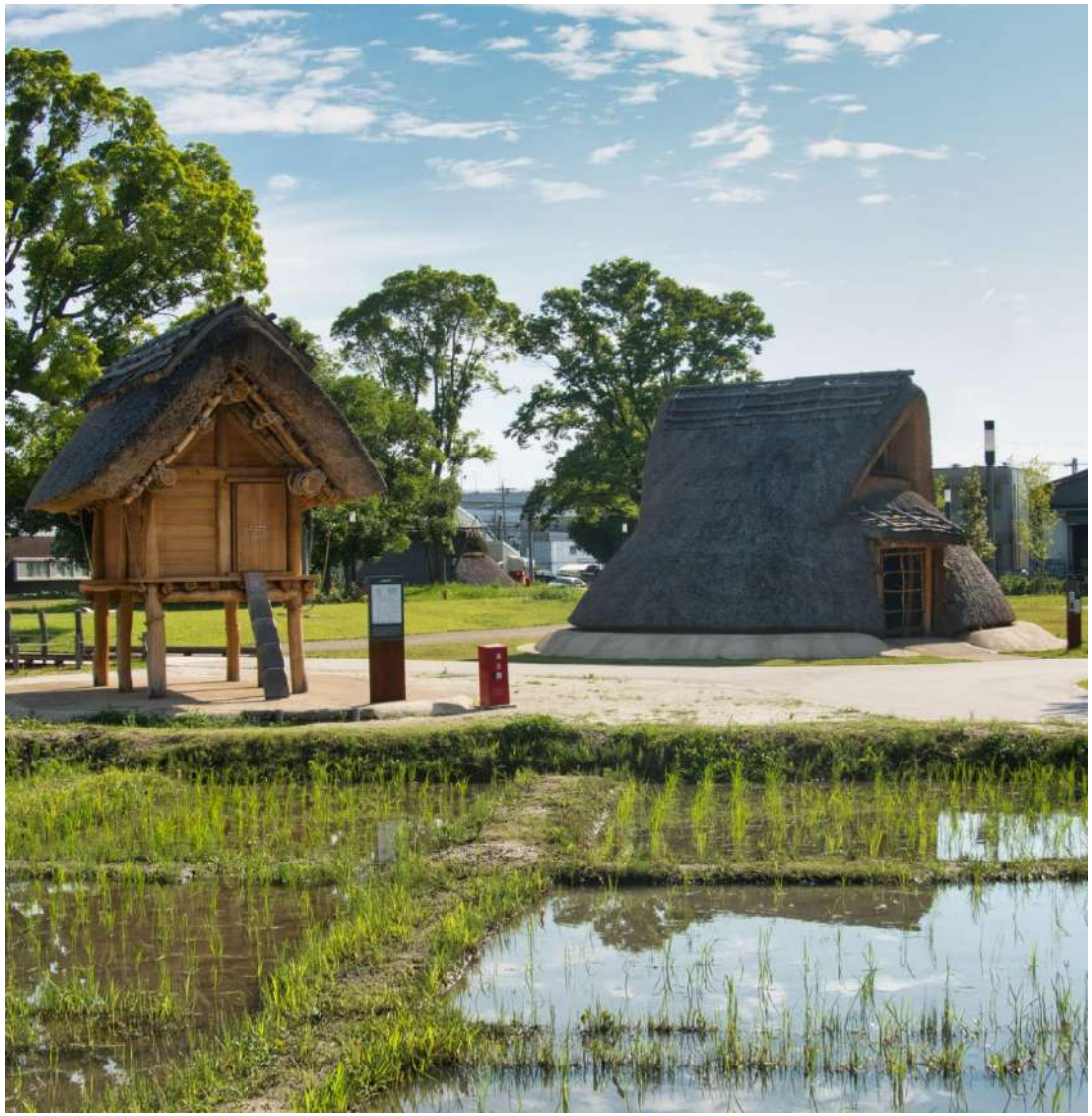
愛知学院大学　第184回
モーニング・セミナー

遺跡の歴史的意義とは

～朝日遺跡の発掘調査から見えてくるもの～



あいち朝日遺跡ミュージアム
学芸課長　原田　幹

2021.07.13

朝日遺跡

弥生時代前期～古墳時代前期
紀元前６世紀（前10世紀とする説もある）～４世紀

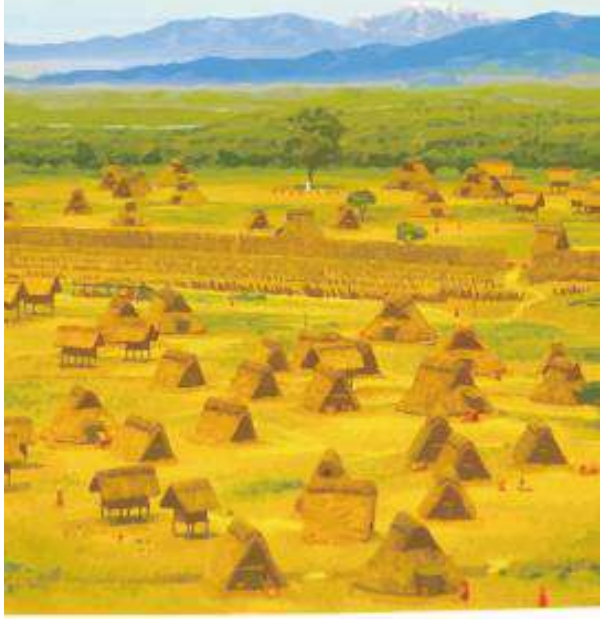
☆全国最大規模の弥生集落

☆ものづくり愛知の原点

☆東西弥生文化の結節点

国指定史跡貝殻山貝塚
1971（昭和46）年
10,169㎡

国指定重要文化財
朝日遺跡出土品
2012（平成24）年
2,028点



貝殻山貝塚は研究者の間では昭和初期から知られた有名な弥生時代の貝塚。

（貝　殻　山）

昭和40年代～平成10年代にかけて、道路建設のための大規模な発掘調査。貴重な発見が相次ぎ、「朝日遺跡」として全国区の弥生集落遺跡に。

☆全国最大規模の弥生集落

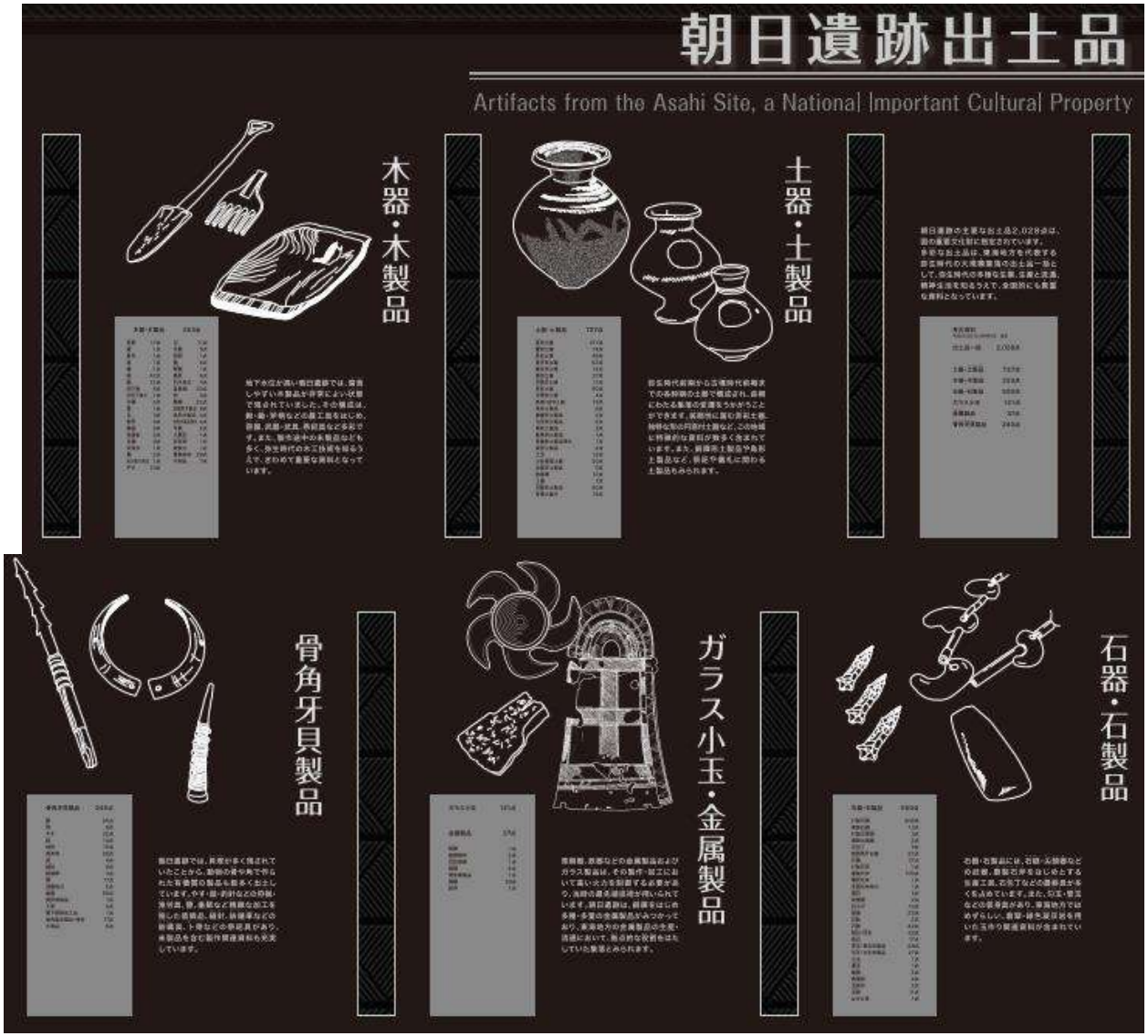
・弥生時代の初期から終末まで営まれた。その規模は、80～100万㎡。九州の吉野ヶ里遺跡にも匹敵する全国屈指の巨大な集落。

清須市(旧清洲町・春日町。新川町)～名古屋市西区にかけて広がる。
発掘された遺構の大半は建設された道路の下（実物はみることができない）。
国指定史跡「貝殻山貝塚」は約1万㎡(遺跡全体の1/80～100)
県指定史跡「検見塚」

朝日遺跡
愛知県
旧河道
環濠
多重環濠
北墓域
石製銅鐸鋳型
ヤナ状遺構
方形周状遺構
井戸群
北居住域
逆茂木・乱杭
東墓域
玉作り工房
前期の居住域
貝層
掘立柱建物群
大型方形周溝墓(東墓域)
西墓域
谷地形
竪穴住居
県史跡検見塚
南居住域
巴形銅器
埋納された銅鐸
二反地貝塚
史跡貝殻山貝塚交流館
人骨出土
第3貝塚
❶史跡貝殻山貝塚
第1貝塚
第2貝塚
弥生時代前期の環濠集落
中根野貝塚
南墓域
あいち朝日遺跡ミュージアム
人骨が集中して出土
旧河道
水場川
N
0
100m
凡例
竪穴住居
掘立柱建物
方形周溝墓
溝、環濠(堀)
弥生時代
前期
中期
中期後葉
後期
史跡指定範囲

☆ものづくり愛知の原点

土器、石器、木製品、骨角器、金属器など様々なモノづくりが行われ、生産と流通の拠点となった集落。



モノや情報があつまるところ

北陸からの宝石（ヒスイなど）や、
近畿・九州からの金属器……
朝日遺跡には、
弥生時代のとても珍しい品々や
それらをつくるための高度な技術
が集められました。

こうしたモノや技術は、
朝日遺跡がとても大事な
場所であったこと
そして、
たくさんの人たちが
朝日遺跡をおとずれたことを、
今のわたしたちに
教えてくれるのです。

高度な技術やモノを持っていて
たくさんの人が集まるから
朝日遺跡は大きくなったのかな

☆東西弥生文化の結節点

・本州のほぼ中央、東西文化の交錯する地にあって、独自の文化を育み、他の地域にも影響を与えた東海地方の中核的な集落。

貝殻山貝塚とあいち朝日遺跡ミュージアム案内図

○弥生時代の遺構

史跡の地下には、弥生時代の貝塚を中心とする遺構が保存されています。また、弥生時代初期の環濠（掘）と貝層を復元表示しています。

❶第1貝塚（貝殻山）　❷第2貝塚
❸第3貝塚　❹環濠と貝層断面表示
❺環濠平面表示　❻貝層平面表示

○体験弥生ムラ

史跡に隣接して、弥生時代の生活空間を復元し、季節に応じた体験学習を実施しています。

❶復元竪穴住居　❷復元高床倉庫
❸体験水田　❹復元方形周溝墓
❺復元竪穴住居（大地遺跡）

○あいち朝日遺跡ミュージアム

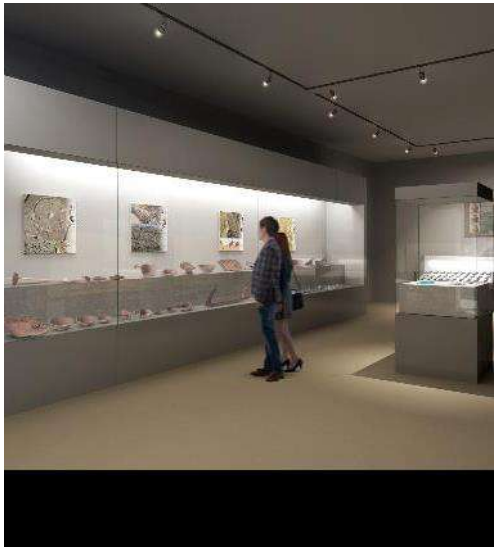
東海地方最大の弥生集落「朝日遺跡」を紹介する遺跡博物館。

○史跡貝殻山貝塚交流館・ガイダンス広場

史跡貝殻山貝塚を紹介するガイダンス施設。

展示

基本展示室1
基本展示室2
企画展示室
キッズ考古ラボ



重要文化財
朝日遺跡出土品

平成24年9月指定。

2,028点　弥生集落の一括指定として、現状では最多。

土、石、木、金属、ガラス、骨角など、弥生時代に使用されていた材質すべてを網羅している。

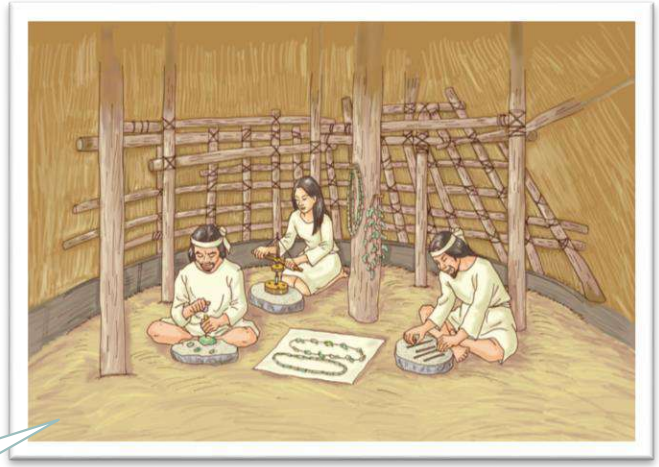
謎の円窓付土器

大きな円い穴は何のためにあけられたものなのか？

最も美しい土器（といわれている）パレススタイル土器

木の農具
現在の農工具の原形はすでにデザインされていた

勾玉・管玉（宝飾品）

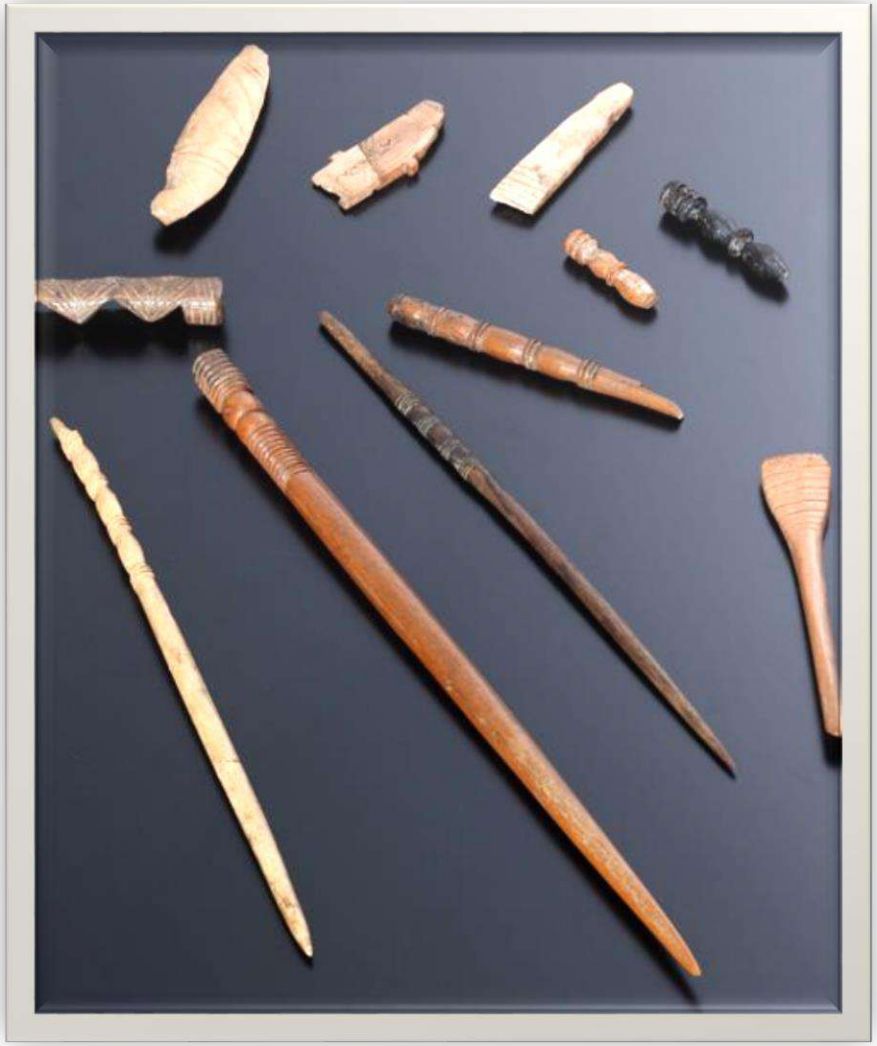


北陸からきた専門の工人が集落内に居住していた。ヒスイなど材料も遠くから持ち込まれたもの。

青銅器・鉄器

古代のハイテク。

骨角を加工したアクセサリー



屋外展示

遺構復元

体験弥生ムラ

史跡
貝殻山貝塚

史跡貝殻山貝塚交流館・ガイダンス広場

門柱と復元建物

体験弥生ムラ

体験水田での田植え

体験水田での収穫

あいち朝日遺跡ミュージアム

みんなで楽しく学べるミュージアムにしていきましょう。

よろしく
お願いします。